

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06139431 A

(43) Date of publication of application: 20.05.94

(51) Int. Cl

G07D 9/00
G06F 15/30
G06F 15/30

(21) Application number: 04309262

(71) Applicant: OMRON CORP

(22) Date of filing: 23.10.92

(72) Inventor: YAMAZAKI YASUMUNE

**(54) AUTOMATIC TRANSACTION MACHINE WITH
BATCH COLLATION FUNCTION**

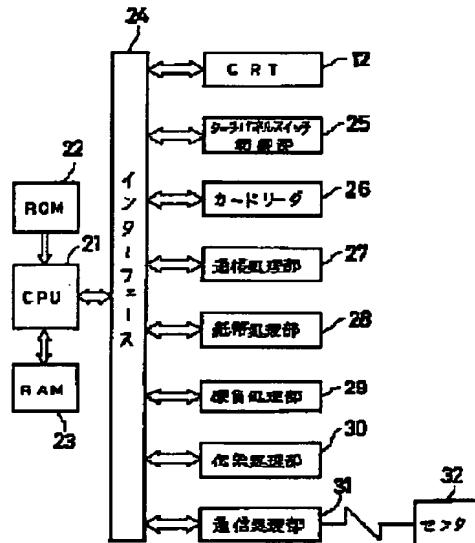
(57) Abstract:

PURPOSE: To attain the batch inquiry of the whole balance and to grasp all transaction content with high efficiency by reading out the balance data on plural customer transaction accounts to totalize and output these data when a batch inquiry data input means is operated.

CONSTITUTION: A CPU 21 controls each circuit based on the program stored in a ROM 22 and stores readably the necessary data in a RAM 23. Then the CPU 21 automatically inquires the whole balance of a customer having plural transaction accounts for the batch balance inquiry. A slip processing part 30 issues a slip to enter the transaction contents including the cash reception/ payment transactions, the inquiry of the balance, etc., and then issues a slip to enter the balance data on all transaction accounts for the batch balance inquiry. The batch balance inquiry slip shows the working transaction data on the transaction section showing the batch balance inquiry, the store in charge, the terminal equipment, the date, etc., the balance data on each account produced at each financial institution, and the total balance which are printed in a list.

Therefore the customer can collectively grasp the whole balance of his plural transaction accounts.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-139431

(43)公開日 平成6年(1994)5月20日

(51)Int.Cl.⁵ 識別記号 庁内整理番号 F I 技術表示箇所
G 07 D 9/00 4 2 6 B 8513-3E
G 06 F 15/30 A 6798-5L
3 2 0 6798-5L

審査請求 未請求 請求項の数1(全6頁)

(21)出願番号 特願平4-309262

(22)出願日 平成4年(1992)10月23日

(71)出願人 000002945

オムロン株式会社

京都府京都市右京区花園土堂町10番地

(72)発明者 山崎 康旨

京都府京都市右京区花園土堂町10番地 オ
ムロン株式会社内

(74)代理人 弁理士 永田 良昭

(54)【発明の名称】 一括照会機能付き自動取引機

(57)【要約】

【目的】この発明は、顧客の有する複数の取引口座をまとめて残高照会できるようにして残高照会のサービス性を高めた一括照会機能付き自動取引機の提供を目的とする。

【構成】この発明は、登録された取引口座の取引残高を照会する残高照会機能を備えた自動取引機であって、複数の取引口座を有する顧客の一括照会データを入力させる一括照会データ入力手段と、上記一括照会データ入力手段が入力操作されたとき、顧客の複数の取引口座の残高データを一括照会用に読み出して集計出力する出力手段とを備えた一括照会機能付き自動取引機であることを特徴とする。

41
41…一括残高照会伝票

取引区分	取扱店	端末番号	年月日
一括残高照会	236	026	04-01-01
金融機関番号	口座番号		残高
0001	123456789012	¥ 100,000	
0002	234567890123	¥ 200,000	
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
0009	987654321098	¥ 1,200,000	
合計残高			¥ 3,500,000

【特許請求の範囲】

【請求項1】登録された取引口座の取引残高を照会する残高照会機能を備えた自動取引機であって、複数の取引口座を有する顧客の一括照会データを入力させる一括照会データ入力手段と、上記一括照会データ入力手段が入力操作されたとき、顧客の複数の取引口座の残高データを一括照会用に読み出して集計出力する出力手段とを備えた一括照会機能付き自動取引機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、例えば銀行業務で取扱われるような自動取引機に関し、さらに詳しくは複数の取引口座を有する顧客の全残高照会を簡単に求められるようにした一括照会機能付き自動取引機に関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、この種の自動取引機は、例えば、先行出願の特願平1-311426号に示すように、入金、出金、振込み、通帳記入、残高照会等の取引項目を有する専用機として利用されている。ことに、残高照会により取引口座の取引内容を明瞭に知らせて顧客に対するサービス性を高めている。

【0003】しかし、この残高照会は一口座分に限定されているため、複数の金融機関に渡って、幾つかの口座を所有している場合は、顧客本人の残高合計の全取引内容が不明となりやすく、全ての取引残高が能率よく把握できない問題を有していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこでこの発明は、顧客の有する複数の取引口座をまとめて残高照会できるようにして残高照会のサービス性を高めた一括照会機能付き自動取引機の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は、登録された取引口座の取引残高を照会する残高照会機能を備えた自動取引機であって、複数の取引口座を有する顧客の一括照会データを入力させる一括照会データ入力手段と、上記一括照会データ入力手段が入力操作されたとき、顧客の複数の取引口座の残高データを一括照会用に読み出して集計出力する出力手段とを備えた一括照会機能付き自動取引機であることを特徴とする。

【0006】

【作用】この発明によれば、顧客の全残高照会をする場合、顧客が自動取引機の一括照会データ入力手段を介して所定の一括照会データを入力操作すると、出力手段が顧客の複数の取引口座の残高データを一括照会用に読み出して集計出力する。

【0007】

【発明の効果】この結果、顧客は複数の取引口座の全残高照会を一括照会できるため、顧客の全取引内容を能率よく把握でき、ことに多くの取引口座を有している場合

は、より一層明確に把握管理でき、取引口座の管理が容易となり、自動取引機に対する取引信頼性の向上および顧客に対するサービス性が向上する。

【0008】

【実施例】この発明の一実施例を以下図面に基づいて詳述する。図面は一括照会機能付き現金自動預金支払機を示し、図1において、この一括照会機能付き現金自動預金支払機は、装置本体11の上部前面に、顧客に取引操作を表示案内するタッチパネル兼用のCRT12と、通帳出入口13と、紙幣出入口14と、硬貨出入口15と、カード出入口16と、取扱い表示器17と、顧客が係員を呼ぶための呼出しボタン18とを備えて、入金、出金、振込み、通帳記入、残高照会、一括残高照会をする自動取引機能を有している。

【0009】図2は一括照会機能付き現金自動預金支払機の制御回路ブロック図を示し、CPU21はROM22に格納されたプログラムに沿って各回路装置を制御し、その必要なデータをRAM23で読み出し可能に記憶する。

【0010】上述のCPU21は、インターフェース24を介してCRT12、タッチパネルスイッチ制御部25、カードリーダ26、通帳処理部27、紙幣処理部28、硬貨処理部29、伝票処理部30、通信処理部31を接続している。

【0011】このうち、CRT12は入出金取引等の取引案内および一括残高照会等の表示案内と、その操作手順を表示し、またタッチパネルスイッチ制御部25は、CRT12の画面上に表示した表示部分と対応してタッチ入力されたタッチ入力信号を制御する。

【0012】カードリーダ26は、カード出入口16より挿入されたキャッシュカードの取引データを読み取り、また更新データを書き込み処理し、取引き終了および入出金取消し時において、カードをカード出入口16より放出する。

【0013】通帳処理部27は、通帳出入口13より挿入された通帳の取引きデータを読み取り、また更新データを書き込み処理し、通帳の印字欄には取引きデータや未記帳データの記帳処理を行ない。さらに、取引き終了および入出金取消し時に、通帳を通帳出入口13より返却処理する。

【0014】紙幣処理部28は、紙幣出入口14から入金された紙幣を装置本体11の内部に取込んで受付処理し、出金時および入出金取消し時において、紙幣を紙幣出入口14より放出処理する。

【0015】硬貨処理部29は、硬貨出入口15から入金された硬貨を装置本体11の内部に取込んで受付処理し、出金時および入出金取消し時に硬貨を硬貨出入口15より放出処理する。

【0016】伝票処理部30は、入出金取引や残高照会等の各種の取引内容の取引データを記載した伝票を取引

毎に発行し、一括残高照会にあっては全取引口座の残高データを記載した一括残高照会伝票を発行する。

【0017】通信処理部31は、編集した入出金要求電文、記帳要求電文および一括残高照会要求電文等をセンタ32に送信し、センタ32から送られてきた入出金回答、未記帳データと今回の取引き分および取引残高等の記帳データ、一括残高照会データを受信処理する。

【0018】ところで、CPU21は一括残高照会に際して、この一台の装置本体11を使用して複数の取引口座を有する顧客の全残高を自動的に照会処理する一括照会機能を有している。これは、図3に示すように、「一括残高照会」の入力項目をCRT12の取引選択画面に表示し、顧客がCRT12に表示された各種取引項目キーのうち、「一括残高照会」の項目を選択してタッチ入力すると、CPU21は顧客の口座番号、暗証番号等の照合データを入力させて照合確認し、これに基づいてセンタ32が、予め顧客が金融機関に登録設定している複数の取引口座の残高データを読み出して集計し、この集計した集計データを一括残高照会伝票にプリントアウトして顧客に放出する。

【0019】図4は一括残高照会伝票41の一例を示し、この一括残高照会伝票41は一括残高照会を明示した取引区分と、取扱い店、端末機、年月日等の使用取引データと、各種の金融機関で作成された口座番号毎の残高データと、これらの残高データの合計残高を伝票にプリントして明瞭に一覧表示している。これにより、顧客は複数の取引口座の全残高を一括して把握することができる。さらに、顧客の取引対応する全取引内容を能率よく把握できるため、全取引口座の管理が容易となる。

【0020】このように構成された一括照会機能付き現金自動預金支払機の処理動作を図5のフローチャートを参照して説明する。通常、この現金自動預金支払機のCRT12は、図3に示すように、入金、出金、振込み、通帳記入、残高照会、一括残高照会の各種取引項目の取引選択画面を表示して取引待機し、このうち一つの項目キーが選択されてタッチ入力されることで、その取引に応じた取引手順を表示案内し、順次入力操作されて選択された取引を実行する(ステップn1~n2)。

【0021】このうち、「一括残高照会」の取引項目がタッチ入力されると、CPU21は本人を特定するためのデータを入力操作するようCRT12に表示案内し、これに基づいて顧客が取引対応するキャッシュカードを挿入し、さらに取引対応する適正な暗証番号を入力操作すると(ステップn3~n4)、CPU21は例えばキャッシュカードに記録された一括照会用の特定データあるいは複数の取引口座を読み出してセンタ32と交信し、

一括残高照会の要求電文を送信する。この結果、センタ32がこれを受けて送信データを了承すれば(ステップn5~n6)、続いて残高照会に対する追加口座の有無を選択させ(ステップn7~n8)、追加口座があれば、追加すべき口座を新たに記憶設定させ(ステップn9~n10)、追加口座がなければ、今まで記憶している複数の取引口座の全残高を集計してプリントアウトし、このプリントアウトされた一括残高照会伝票41をキャッシュカードと共に放出して、一括残高照会の処理が終了する(ステップn11~n15)。

【0022】この入力操作途中で、取引対応しないキャッシュカードを挿入したり、間違った暗証番号を入力した場合は、センタ32で受付拒否して、その取引不適な旨をCRT12に表示案内する(ステップn16)。

【0023】上述のように、顧客は複数の取引口座の全残高照会を一括して照会できるため、顧客が利用する全取引内容を能率よく把握でき、ことに多くの取引口座を有している場合は、より一層明確に把握管理でき、取引口座の管理が容易となり、現金自動預金支払機に対する取引信頼性の向上および顧客に対するサービス性が向上する。

【0024】この発明と、上述の一実施例の構成との対応において、この発明の自動取引機は、実施例の現金自動預金支払機の装置本体11に対応し、以下同様に、一括照会データ入力手段は、CRT12およびタッチパネルスイッチ制御部25に対応し、出力手段は、CPU21およびセンタ32に対応するも、この発明は上述の一実施例の構成のみに限定されるものではない。

【図面の簡単な説明】

30 【図1】この発明の一括照会機能付き現金自動預金支払機の外観斜視図。

【図2】この発明の一括照会機能付き現金自動預金支払機の制御回路ブロック図。

【図3】この発明の取引選択画面の表示案内例を示す説明図。

【図4】この発明の一括残高照会伝票の一例を示す拡大平面図。

【図5】この発明の現金自動預金支払機の一括照会処理動作を示すフローチャート。

40 【符号の説明】

11…装置本体

12…CRT

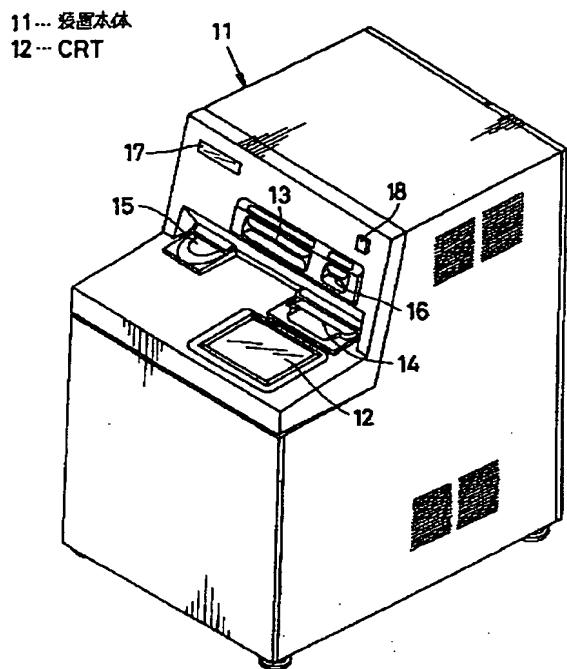
21…CPU

25…タッチパネルスイッチ制御部

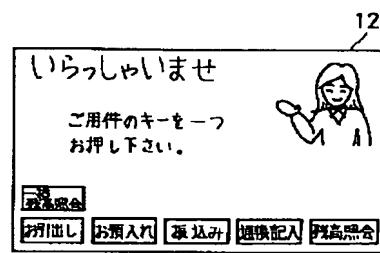
32…センタ

41…一括残高照会伝票

【図1】



【図3】



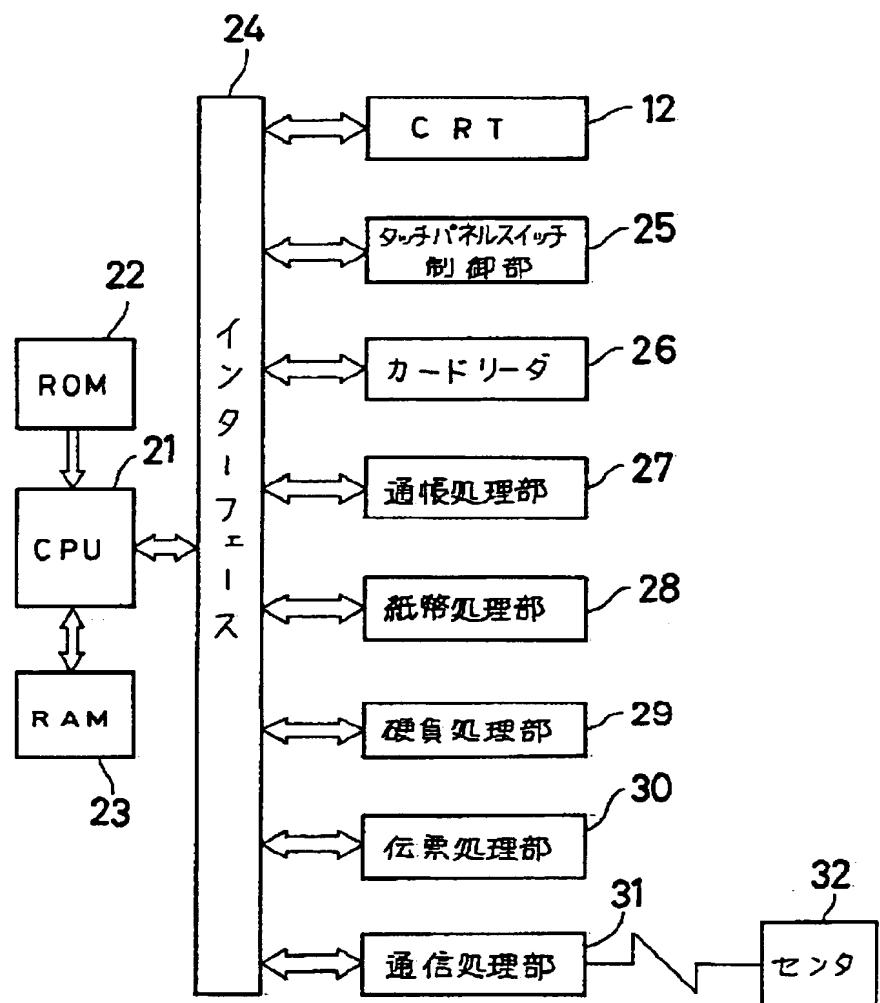
12...CRT

【図4】

41...- 残高総合履歴

取引区分	取扱店	期末番号	年月日
- 残高総合履歴	236	026	04-01-01
金融機関 番号	口座番号		残高
0001	123456789012	¥ 100,000	
0002	234567890123	¥ 200,000	
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
0009	987654321098	¥ 1,200,000	
合計残高		¥ 3,500,000	

【図2】



【図5】

